

令和元年度 建設経済常任委員会行政視察日程（案）

項目 日程	視察市 (人口)	視察項目
【第1日目】 11月5日(火) 午後	福岡県 糸島市 (101,637人)	<p>■ 浜の活力再生プラン等の水産振興の取組について</p> <p>糸島漁業協同組合を中心に糸島市・県などが参画した「糸島市地域水産業再生委員会」を組織し、サワラの高鮮度処理による販路拡大やカキの直接販売を実施した結果、平成30年度の農林水産大臣賞を受賞。</p> <p>糸島漁協と市、県は、水産物の糸島ブランドロゴマークを作成して地域ブランドの育成に取り組むほか、年間135万人が誇るJA糸島の産地直売施設や地元の飲食店などの異業種との連携により地元での消費拡大を目指すPR活動をしている。</p>
【第2日目】 11月6日(水) 午前	福岡県 八女市 (63,154人)	<p>■ 伝統的な町並みを生かした町家活用の取組について</p> <p>平成3年の台風被害から町家の保全を訴える市民の声が高まり、市は平成5年に「八女市伝統的町並み景観整備規則」を制定し、町並みを生かしたまちづくりに取り組んできた。</p> <p>平成15年には「NPO法人八女町家再生応援団」が組織され、空き家の所有者と町家を借りたい希望者の仲介を行い、42件の古民家再生、移住者の定着につながっている。</p> <p>市も空き家再生・活用モデル事業によりNPO法人の提案事業を採択し、町家をイベント会場や移住体験・交流施設に再生した。</p>
【第3日目】 11月7日(木) 午前	山口県 宇部市 (165,785人)	<p>■ コンパクトシティに係る地域公共交通の再編について</p> <p>国土交通省における令和元年度の立地適正化計画のモデル都市に選定されており、市は、高齢化や中心市街地の空洞化に対して、「地域公共交通再編実施計画」を策定し、路線バスの主要幹線化のほか、デマンドバスやコミュニティタクシーの試行、次世代交通システムの導入検討などを進めている。</p> <p>また、コンセプトとして「多極ネットワーク型コンパクトシティ」と「地域支え合い包括ケアシステム」を合わせて取り組むこととしており、都市機能の誘導だけでなく居住誘導に関わる受け皿づくりについても併せて推進している。</p>